

正規・非正規の格差是正に向け意見交換

非正規労働者集会を開催！

2016年3月23日（水）18：30より、千葉県教育会館において、産業別組合の責任者とそこで働く非正規労働者40名の参加により、連合千葉「非正規労働者集会」開催しました。

鈴木会長の挨拶に続き、労働担当より2016春季生活闘争の回答状況と非正規共闘方針、同一労働・同一賃金の考え方の説明がされました。その後、2グループに分かれ、個人の思いや現状報告、交渉によって勝ち取った案件等の意見交換をしました。その中で、賃金制度や正規社員への転換のルールについては、明確化すべきとの意見が多数出され、将来設計の立てられる雇用環境についてることが必要との意識合わせをする場となりました。

また、産業別組合の責任者からは、非正規社員のために取り組みを強化し、前に進めて行きたいとの見解も出されました。



挨拶に立つ鈴木会長



参加者

**くらし何でも 相談無料
相談ダイヤル**

**秘密
厳守**

ちばライフサポートセンター

いつでも そうだん よい よい

0120-53-4141

受付時間 平日 午前10:00～午後5:00

ちばライフサポートセンター
ホームページ <http://www.chiba-lsc.jp>

〒260-0024 千葉市中央区中央港1-24-14 SEASCAPE千葉みなと3階 実施団体:一般社団法人 千葉県労働者福祉協議会(略・労福協)

NEWS

れんごうば

日本労働組合総連合会
千葉県連合会(連合千葉)
発行人 林田博史 編集人 斎藤政洋
〒260-0013 千葉市中央区中央4-13-10
千葉県教育会館 新館6階
TEL 043-201-2022 FAX 043-201-2023
URL <http://chiba.jtuc-rengo.jp/>

No.163 2016年4月

連合千葉2016春季生活闘争総決起集会を開催

すべての働く者の待遇改善！

「底上げ・底支え」「格差是正」で経済の好循環実現！

連合千葉は、2月20日（土）14時から中央公園（千葉市）において、組合員約2,000名の参加のもと「連合千葉2016春季生活闘争総決起集会」を開催しました。

決起集会においては、主催者を代表して鈴木会長から「底上げ・底支え」「格差是正」の実現で「働くことを軸とする安心社会の実現」等について訴え、連合本部南部副事務局長より今春季生活闘争の情勢報告を頂きました。続いて、民主党千葉県総支部連合会を代表して長浜参議院議員ならびに社民党千葉県連合の小宮代表から連帯の挨拶をいただいた後に、連合千葉業種別部会より金属部会の大塚さん、交通・運輸部会の岡澤さん、地域協議会代表として成田・佐倉地域協議会の米田議長、底上げ支援としてU.Aゼンセンより角谷さんからそれぞれ決意表明が行われ、連合千葉議員団会議からは代表して天野会長より連帯の挨拶をいただきました。

最後に集会宣言は連合千葉女性委員会桑名副委員長が読み上げ、満場の拍手で採択され、最後まで闘う決意を結集し、五十嵐副会長の閉会あいさつの後、鈴木会長のガンバロー三唱にて閉会しました。当日は、荒天のためデモ行進が中止となり、デモ行進に変えて、舞台にて青年・女性委員会のメンバーによるシュプレヒコールを実施し集会を終了としました。

また、連合千葉アドバイザー、連合千葉推薦議員の皆さんとの協力を得て「なんでも労働相談」窓口をJR千葉駅前に開設し、労働に関わる相談活動を行いました。



雨天の集会模様



青年・女性委員会幹事によるシュプレヒコール

会長挨拶要旨

連合千葉は、今次春季生活闘争を取り組むにあたり、2月5日の東葛地域協議会を皮切りに県下各地域において街頭キャラバン行動を展開し、本日の総決起集会に繋いで参りました。この間の連続した諸行動に改めて感謝申し上げます。

連合は、2016春季生活闘争で、すべての組合が総合生活改善闘争としてすべての働く者の待遇改善、「底上げ・底支え」「格差是正」の実現を目指し、「デフレからの脱却」「経済の好循環実現」に向けて全力を尽くすことを決定しました。

今日段階においても、物価上昇に伴う負担だけが拡大し、生活の糧である実質賃金の引き上げが伴わない状況が依然として続いている。

今春闘においても、持続可能な「安心社会」を実現するため、経済成長と整合する未来志向に立った賃金決定をしなければなりません。



私たち連合に結集する構成組織は、「積極的な人への投資」を経営側に求め、これに逆行する労働者保護ルールの改悪を阻止するとともに、すべての働く人に十分に報いる社会を実現することを求めていきます。

また、不安定雇用の増加など、雇用の劣化や格差の拡大に歯止めをかけ、「働くことを軸とする安心社会」実現に全力を尽くし、「クラシノソコアゲ応援団」として、あらゆる職場で労働組合の社会的意義・役割を積極的にアピールし、働く仲間を増やし、1000万連合実現に向けて取り組みを強化していくこととします。

現在、政府・安倍政権は、「日本を世界で一番企業が活躍しやすい国にする」と謳い、あからさまに供給側（業界）重視に偏った成長戦略にしています。更にアベノミクスの第2ステージとして、「名目GDP600兆円」「希望出生率1.8%」「介護離職ゼロ」などの目標を並び立てる一方、強引な政治手法によって、労働者派遣法をはじめとした労働者保護ルールの改悪など「人を犠牲にした経済成長」を強引に進め、安全保障関連法の強行可決のように一部の声のみを反映させて政策を推し進めてきています。

今、まさに安倍政権の経済政策「アベノミクス」が行き詰り、巨大与党と化した様々な暴走に歯止めをかけるためには、全国の働く仲間の力を総結集し、社会的なうねりをつくらなければなりません。

とりわけ、国会提出を目論んでいる労働者保護ルールに「岩盤規制」というレッテルを貼り、昨年の労働者派遣法の改正案は「生涯、ハケンで、低賃金」を合法化する悪法であって、長時間労働や過労死を助長しかねない、「労働基準法の改正（労働時間規制の緩和）」や解雇の金銭解決制度の導入の検討など、働くものを踏み台にした成長戦略など何が何でも阻止しなければなりません。



挨拶に立つ鈴木会長



連合本部 南部副事務局長

次に、平和の問題であります。

世界各地では、未だに自由と平和を脅かす状況が続き、地域紛争やテロも後を絶ちません。また、強行採決された安全保障法制や沖縄の基地移設問題、憲法改正論議など危惧すべき戦前の状況に戻りつつあります。私たちは、いかなる国に対しても紛争やテロを許さず、平和の構築、貧困の撲滅、格差の是正のためには、国民・世論の力を結集して行動しなければならないことを強く訴えるものであります。

結びに、7月に施行される第24回参議院選挙についてであります。

県内の経済・産業政策、雇用の安定と拡大、安心の社会保障制度の確立など、連合千葉は、積極果敢に連合組織内比例候補者12名と千葉県選挙区候補者「小西洋之」候補全員の勝利に向けて全力を挙げることとします。

本日の決起集会で、働く者の力で私たちの働く仲間を国政の場に送り出すことを全体で確認するとともに、政治決戦に勝利しようではありませんか。

私たち15万連合千葉は様々な重要課題に対して、すべての働く仲間とともに、力を合わせ、心をつなげて、「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現」をめざし、2016春季生活闘争を積極・果敢に闘い抜き、「暮しに花の咲く」春季生活闘争にしようではありませんか。

そして、「働くことを軸とする安心社会」を働く者の団結力で切り拓くため、本決起集会の成功を祈念し、主催者を代表してのあいさつとします。最後の最後まで、共に頑張りましょう！！

今年も、連合千葉に結集する仲間を取り巻く情勢・環境は、まだまだ変革の波が続くものと想定されます。連合が社会から期待され、共感を得る運動を追求・具現化し、役割と責任、職場・地域における価値ある社会運動を高めながら、連合千葉に結集する仲間の皆さんとともに運動的使命・役割を果たしていくことが大切であります。

直面する2016春季生活闘争、第24回参議院選挙、クラシノソコアゲ応援団キャンペーンや仲間づくりをはじめとした様々な課題について、連合千葉は働く仲間の皆さんと力を合わせ、全力を挙げて頑張り抜く決意を込め、挨拶とします。



連合千葉第20回国際女性デー

男女平等を実現しよう！

各職場や地域において、男女平等に向け行動することを訴える！

2016年3月10日(木)18時より、JR千葉駅クリスタルドーム前にて、40名の参加により、連合千葉第20回国際女性デーと銘打ち、女性の尊厳を守るためにアピール行動を展開しました。連合千葉女性委員会谷井委員長の主張で始まり、応援弁士として、連合千葉鈴木会長、連合本部井上総合男女平等局長にお越し頂き、女性の置かれている現状報告と男女平等に向けて、取り組んでいく項目を訴えて頂きました。

その後、女性委員会幹事のリレートーク、連合千葉推薦女性議員からの主張を行い、構成組織からの参加者には、バラとチラシの入ったティッシュ1,000組を街行く人たちに配布をして頂きました。

アピール行動の最後には、女性委員会国井事務局長より、各職場や地域において、男女平等に向け行動して頂きたいと訴え、マイクを置きました。

【参考】国際女性デー：3月8日

国際女性デーは、アメリカの女性たちが賃金や労働条件の向上、女性の尊厳を求めて集会を開いたのがきっかけとなり、今や世界中に広がっています。このシンボルは「パンとバラ」。

3月8日は、国際女性デー

3.8 国際女性デーとは…

- 1857年3月8日、ニューヨークの被服工場で働く女性達が低賃金・長時間労働に抗議を行ったことが「3.8国際女性デー」の起源です。 IT'S OUR DAY!
- 3月8日には、世界中で女性たちが「女性の政治的自由と平等」のために行動しています。



鈴木会長



連合本部 井上総合男女平等局長



女性委員会幹事によるリレートーク



ご協力頂いた参加者